

大成九条の会ニュース

大成九条の会事務局発行

(連絡先) 泉 賢二

電話・FAX：047-342-9982

損保9条の会 第17回講演会に91名が参加

新型コロナウイルス禍の中で新年を迎えました。一日も早くコロナを克服するため、国と自治体がこれまで以上に有効な政策を推進することが求められています。大成九条の会ニュースをご送付します。

昨年11月22日に北とぴあペガサスホール（王子）でコロナ対策を講じて開催した損保9条の会第17回講演会は、同志社大学大学院教授・エコノミストの浜 矩子氏によるオンラインリモート方式により大画面での講演が行われ、91名（大成九条の会から20名）が参加しました（裏面に講演内容を掲載）。なお、講演内容は損保九条の会HP（<http://www.sompo9.org/>）に掲載しています。

講演会終了後に例年開催していた大成九条の会は、コロナ禍を避けるために今回は開催しませんでした。昨年は27名の方から93,000円にのぼるカンパが寄せられました。深く御礼申し上げます。

引き続き戦争のない平和な日本と世界を実現するために、皆さんと一緒に取組みを進めていきたいと思えます。

今年も、5月3日（月・祝）憲法集会への参加、10月23日（土）損保9条の会第18回講演会開催（王子・北とぴあ）を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。

引き続き「9条改憲NO！」を合言葉に！市民と野党共闘の大飛躍を！

これまでのたたかいで安倍政権が狙った9条改憲を阻止してきました。菅首相は「安倍政権の継承」を表明しており、改憲策動を許さず、引き続きのたたかいが必要です。

菅政権は違憲・違法の日本学術会議への人事介入という強権政治を行いました。理由を示さないままの任命拒否は学問の自由を侵害するだけでなく、日本社会全体の言論・思想・良心の自由を侵害するものです。かってない広がり学協会・団体が民主主義の危機ととらえ、抗議の声をあげています。

一昨年7月の参院選で市民連合と野党共闘の力が自公・維新等の改憲勢力の3分の2を阻止し、自民党を単独過半数割れに追い込みました。今年は衆院選と東京都議選が行われますが、2つの選挙で市民と野党共闘の大飛躍を実現し、改憲勢力を少数に追い込んでいきたいと思えます。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名にご協力下さい。

2017年の国連総会で採択された核兵器禁止条約の批准国が50カ国を超え、1月22日に発効することになりました。広島・長崎の被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」を求める世界の多数の政府と市民が共同して取り組んだ歴史的成果です。昨年12月7日、国連総会はすべての加盟国の早期署名・批准を要請する決議を130ヶ国の決議で採択しました。

日本政府は、「核兵器保有国と非保有国の橋渡しをする」と繰り返し、署名・批准を拒み続けており、核保有国の先棒担ぎを演じています。

原子爆禁止日本協議会は、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を呼びかけました。損保九条の会は取扱団体となって署名に取り組んでいくことを確認しました。署名用紙と返信用封筒を同封しますので、皆様のご協力をよろしく願います。（返信封筒の切手代のカンパにご協力願います）

浜矩子氏講演「今、何をどう考え、どう見抜くか～下心政治の向こう側を目指して～」

コロナ下で定員の半分で実施しました。浜矩子氏が自宅からスクリーンに登場し講演が行われました。『今、何をどう考え、どう見抜くか～下心政治の向こう側を目指して～』と題した講演の概要は次のとおりです。

1. 菅総理が登場。所信表明にもあるよう「自助第一主義」の権力大好き男。
2. 二つの下心政治を比べてみれば
3. アホでもスカでもない経済政策に求められるもの
4. スカノミクス親爺の目と耳と手はどんな目と耳と手？
5. 弱肉強食の向こう側にあるもの
6. 真の共生社会はいずこに？

- アベ首相のアホノミクスからスガ首相のスカノミクスへ。僕ちゃん政治から奸倭（カンネイ 心が正しくなくへつらう）首相へ。
- 二つの下心政治を比べてみれば
 - ・アホノミクス大将の下心—21世紀版大日本帝国の構築。強兵のための改憲。富国のためのアホノミクス。
 - ・スカノミクス親爺の下心—21世紀版絶対王政（マキャベリ「君主論」への心酔）の構築。強権政治のための異論排除。強大経済のための淘汰と集約。実益のための各論（例えばケイタイ料金の値下げ）。
- 今求められるのは目と耳と手の三つ。
 - ・人に寄り添う、涙する目、傾ける耳、そして差し伸べる手。
 - ・それに対しスカノミクス親爺の目と耳と手は目は監視の目、耳は盗聴の耳、手は切り捨てる手。（例えばデジタル庁の新設）
- 弱肉強食の向こう側にあるもの
 - 弱者救済のための徹底公助の世界。公助確立のための強者奮闘の世界。真の共生社会（共存社会ではない）
- 真の共生社会は？—カソリック信徒である先生は聖書から引用し示しました。
 「猿は子羊とともに宿り、豹は子山羊とともに伏す。子牛は若獅子とともに育ち、小さい子供がそれらを導く。牛も熊も共に草を食み、その子らは共に伏し、獅子も牛もひとしくほし草を食らう。乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ、幼子は蝮の巣に手を入れる。わたしの聖なる山においては何ものも害を加えず、滅ぼすこともない」（旧約聖書イザヤ書 11. 6～10）
- 最後は「打倒スカノミクスすなわち、打倒ファッショノミクス！！！！いまこそ、21世紀の市民革命の時」を強調し締めくくりました。



（スクリーンで講演する浜 矩子氏）

たたかひの成果に確信をもって

この15年、損保9条の会として地道な活動が続け9条改憲を許さずにきています。今年は痛快で画期的な成果があった1年でもありました。あの検察庁改正法案は多くの国民の反対世論の前に挫折を余儀なくされました。圧倒的賛成と見込まれていた大阪市の住民投票では「大阪市を残す」という市民の力で否決されました。「病氣」を理由としつつも、内政・外交とコロナ対策で行き詰まった安倍首相は退陣に追い込まれました。そして、戦後長きにわたり広島・長崎の被爆者、日本と世界の人々の悲願である「核兵器禁止条約」がいよいよ発効となります。これらの成果に確信をもち、今後も引き続き、ねばりづよく取り組んでいきましょう。

（損保9条の会事務局長 閉会挨拶より）

＜「大成九条の会」会計報告＞ 2020年12月末時点での会計状況は以下の通りです。

	項目	金額
1	2019年12月末残高	89,261円
2	2020年1月以降のカンパ収入（振込手数料控除）	89,470円
3	2020年1月以降の支出（通信費・印刷費等）	79,061円
4	2020年12月末残高	99,670円

（注）・上記には今回講演会の会場入場時の協力金（一人千円）は含みません。

・3の支出に今回の「ニュース」発行に係る印刷・郵送費等35,736円を含みます。

